

## ◇ 全地連拡大編集委員会報告 ◇

広報委員会

平成6年11月22日に東京の全国地質調査業協会連合会ビルで実施された。

参加者は弓削田委員長、各委員、矢島専務理事、各支部協会担当委員で、私は東北協会田矢委員長の代理として参加した。この会の開催に先立ち、当協会では資料として雑誌「地質と調査」の配付先一覧表を提示した。

この会議では

- ① 平成7年度発行分（通巻第64～67号）の企画について
  - ・小特集
  - ・シリーズ等
  - ・単発記事
  - ・その他
- ② 雑誌「地質と調査」の配付先及び配布方法について
- ③ 第62号（12月発行）、第63号（3月発行）について

以上について今までの経過も含めて各委員から活発な意見が出されこれらを参考にして今後の雑誌編集にあたる事となった。

検討項目①～③について討議内容の概要を示すと。

- ① 小特集のテーマについて新規提案分5件、既存提案分15件について検討した。  
この結果……地下水及びガスの調査方法、土質調査法の改訂の解説、ボーリング関連技術、大規模動態調査、海外の地質調査、失敗事例集、アンカー工法と利用方法などについて今後真剣に検討する事とした。  
シリーズ物……やさしい知識、教養読本、人材確保（大学訪問シリーズ）
- ② 雑誌の配布先をさらに拡大し、各支部協会の購入部数を増やしてもらえばカラー印刷等の充実も計れる。  
現場との遊離が目立ち今後はこの面にも力を入れて広報する必要がある。
- ③ 第62号は依頼中、第63号は膨張性地山を取り上げたい。  
東北の割り当てとしては第64号（私の経験した現場）、第67号（地区協会技術情報）  
この会の終了後、各会員の自己紹介もかねた内輪の懇親会を実施し終了した。